

## 今回のおはなし

「加齢性難聴」  
「検診」



# 聴覚 小生 佳奈 令 齒 口 力

高齢になると視力だけでなく、聴力も衰えていきます。いわゆる加齢性難聴です。聞き取りが難しくなるほど、日常生活の支障は増えていきます。難聴は、認知症のリスク要因になるとの指摘もあるだけに、早期の補聴器使用が望ましいです。欧米諸国と比較すると、日本の補聴器普及は低いです。まずは、難聴と補聴器について、適切な知識を身につけて下さい。

なぜ、加齢性難聴が起こるのか？耳の蝸牛（かぎゅう）と呼ばれる管の中には、音を感じるセンサーである有毛細胞があり、この「毛」が音から変換した電気信号を脳に伝えます。

加齢性難聴には、さまざまなタイプがありますが、年を取って有毛細胞が徐々に消失していくことが主な原因になっています。

難聴が始まると、聞き違いがよく起きるようになります。母音に比べ、子音は周波数が高いので、高い音がよく聞こえず、たとえば、加藤さんと佐藤さんを聞き違えるようなことが起こります。なんとか音は聞こえますが、言葉として理解できなくなります。小さな音は聞き取りにくいのに、ある大きさを超える音は、健聴者以上にうるさく感じるクルートメント（補充）現象も伴います。また、難聴が与える悪影響にも注意が必要です。聞き取りにくくなることで、会話に気後れを感じたり、緊張を強いられたりします。何度も聞き返すのもつらいです。よく聞こえるように相手が大声をだすと、怒鳴られている気分にもなります。コミュニケーション不全は、強烈なストレスになります。人と会う機会を避け、家に閉じこもりがちになります。抑うつや意欲の低下、社会的孤立を引き起こす、難聴の怖さがあります。

近年、難聴と認知症の関連が注目されています。聴覚に関する神経活動の低下、コミュニケーション困難による社会活動の低下や刺激の減少といったさまざまな原因仮説があります。研究は始まったばかりですが、難聴と認知症のリスクに関連があるということはわかってきたようです。聞き取りに何らかの問題を感じたら、まずは病院で診察を受けて下さい。治療で治る難聴もあります。加齢性難聴の場合、補聴器が有効です。

### 加齢性難聴の特徴

- 聞き間違いが起こる
- 小さな音は聞き取りにくいですが、ドアを閉める大きな音などは急にうるさくなる
- 音は聞こえても言葉がはっきりしない
- 静かな所では話が理解できても、うるさい所や、音が響く場所では分からない



### 難聴が与える影響

- 人との会話や外出がおっくうになり、消極的になる
- 聞こえないため、相手が大声を出すと、怒鳴られているような気持ちになる
- 大事な話を聞き漏らすまいと精神的に緊張を強いられる
- 車の音や警報のサイレンなどが聞こえず不安になる



# 検診を受けましょう！

令和6年度からすべてのがん検診の検診費用が有料になります。

## 自己負担額

検診の種類	検査項目	令和6年3月31日 までの自己負担額	令和6年4月1日 からの自己負担額
肺がん検診	胸部エックス線検査	0円	500円
肺がん検診	喀痰細胞診検査（注記）	0円	500円
大腸がん検診	便潜血検査	0円	500円
前立腺がん検査	PSA検査	0円	500円
子宮頸がん検診	子宮頸部細胞診検査、 コルポスコープ検査（注記）	0円	500円
子宮頸がん検診	子宮体部細胞診検査（注記）	0円	500円
乳がん検診	マンモグラフィ検査	0円	500円
乳がん検診	超音波検査	0円	500円
胃がん検診	胃部エックス線検査	0円	500円
胃がん検診	胃部内視鏡検査	3,000円	3,000円

（注記）の検査項目は、医師が必要と認めた場合のみ実施する検査です。

ご不明な点は、浦安市健康増進課 381-9059 へお問い合わせ下さい。



2023年も、手に取って頂き、ありがとうございました。  
2024年も皆様にとって素晴らしい年になりますように・・・  
よいお年をお迎え下さい。

## （一社）浦安市薬剤師会

〒279-0004 浦安市猫実1-2-5 健康センター内

Tel 047-355-6812（月～金：10～15時）

Fax 047-355-6810

メールアドレス yaku\_ura\_t@urayaku.jp

ホームページ <https://www.urayaku.jp/>